



令和7年度 学校経営シラバス（定時制）

北海道小樽潮陵高等学校

1 学校教育目標

社会に開かれ信頼され、生徒が生き生きと活動する学校づくりをめざし、次の資質・能力の育成をめざして教職員が協働して教育に取り組む。

- (1) 基礎・基本を身に付け自ら学ぶ
- (2) 社会性、公共心に富み地域社会を理解し地域に貢献する
- (3) 豊かな人間性を備え心身ともに健やかである

2 スクール・ミッション

- (1) 健康的な生活習慣を身に付け、自ら考え主体的に判断し行動できる生徒の育成
- (2) 望ましい勤労観、職業観を身に付け、自己実現のために努力する生徒の育成
- (3) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得により、コミュニケーション能力や諸課題への解決力を身に付けた生徒の育成

3 3つの方針（スクール・ポリシー）

○育成を目指す資質・能力に関する方針

- (1) 基本的な生活習慣づくりを通じ、心身ともに健やかに生きる力を育てる。
- (2) 卒業後の進路や将来の姿を思い描き、自分らしい生き方を実現する力を育てる。
- (3) 基礎的・基本的な知識や技能を確実に身に付け、さらに自ら学ぼうとする力を育てる。
- (4) 互いを尊重し合い、協働する事を大切にする社会適応力を育てる。

○教育課程の編成及び実施に関する方針

- (1) 一人一人の学力や理解度に応じ、対話的で理解しやすい少人数の学習指導を行う。
- (2) 基礎学力を身に付けるための学習機会を各学年に設定する。
- (3) 自ら意欲的に学び、努力する態度を養う教育活動を行う。
- (4) 学校行事や校外での体験的学習を重視した教育活動を行う。
- (5) 職場体験、講話等外部との連携の下で、勤労観や職業観を身に付ける教育活動を行う。
- (6) 3年間で卒業を目指す生徒に対応し、三修制を取り入れた教育活動を行う。

○入学者の受入れに関する方針

- (1) 義務教育段階の学び直しを含め、基礎学力を身に付けたい生徒
- (2) 毎日の学びを通して高校を卒業したいという意志を持った生徒
- (3) 学業の必要性を感じ、再挑戦しようとする生徒
- (4) 自分の夢や将来の希望を持ち、その実現に向けて継続的に努力する生徒
- (5) 学校行事や生徒会活動等を大切にし、学校生活に意欲的に取り組む生徒

4 指導上の重点事項

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> (1) 多様な生徒の立場や特性を尊重しつつ、社会の変化やニーズを踏まえたきめ細かな支援を行いながら生徒にとって充実した学校生活を提供する。 (2) 生徒の社会性やコミュニケーション能力を高め進路実現を果たすことができるよう、家庭や地域、関係機関等と連携しつつ、教員一人一人が課題意識を持ち協力して学校運営を行う。
学習指導	<ol style="list-style-type: none"> (1) 基礎的・基本的学習内容の定着を図り、生徒の学習意欲の喚起を図る。 (2) 生徒の能力に応じ、一人一人を伸ばす学習指導の工夫・改善に努める。 (3) 学ぶ意欲を高めるための教材の研究と評価方法の工夫に努める。 (4) 生徒のつまづきの発見と個別指導の充実に努める。 (5) 教育課程と教務内規の見直しを図り、多様な生徒の学力向上に努める。
生徒指導	<ol style="list-style-type: none"> (1) 生徒の規範意識・自主性や協調性、社会性等の自己管理能力の向上に努める。 (2) 心の触れ合う共感的な生徒指導に努め、個別指導を通じて学校生活への適応を図る。 (3) 教育相談の充実に努め、不適応生徒の早期対応と個別指導の徹底に努める。 (4) ホームルームや特別活動の充実に努め、望ましい人間関係の育成に努める。 (5) 全教職員の共通理解のもと、組織的で統一性をもった生徒指導を図る。
進路指導	<ol style="list-style-type: none"> (1) 一人一人の個性・能力の伸長を図り、正しい職業観・勤労観の育成に努める。 (2) キャリア教育を推進し、就職先の開拓に努める。 (3) 家庭・地域・クラス担任との連携を密に行い、進路相談の充実に努める。 (4) 進路情報・求人情報を提供し、適切な進路選択を援助する。
健康・安全指導	<ol style="list-style-type: none"> (1) 生徒の安全意識の高揚と健全な心身の育成に努める。 (2) 給食指導・保健指導を通じて、自己の健康管理能力の育成に努める。 (3) 健康増進のため、体育的活動に参加する態度の育成に努める。 (4) 保健室機能を生かし、教育相談の充実と特別支援学校との連携に努める。

5 目指す資質・能力の育成に向けた達成目標と方策

育成を目指す 資質・能力	達成目標（中期目標）	方 策
(1) 基礎・基本 を身に付け自 ら学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識及び技能を習得させる。 ・学習に取り組む意欲と不断に努力する態度を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 学ぶ意義が理解できるような教材の精選 □ I C Tを活用するなどして、習得・活用・探究といった学習過程の確立と指導方法の工夫・改善 □ 1時間や1単元の授業で身に付けられる資質・能力を具体的に提示 □ 観点別評価の充実による指導と評価の一体化の推進
(2) 社会性、公 共心に富み地 域社会を理解 し地域に貢献 する	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育を推進し、職業観・勤労観を育成する。 ・自己管理能力を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> □ インターンシップなどの体験活動や講演会の内容の一層の充実 □ 生活体験発表の活性化 □ 生徒面談、教育相談の充実 □ 本校の実態に合わせた生徒会行事の工夫・改善 □ I C T機器等の使用に関わるモラル指導の推進
(3) 豊かな人間 性を備え心身 ともに健やか である	<ul style="list-style-type: none"> ・規範意識、自主性、協調性・社会性等を向上させる。 ・いじめの未然防止に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 挨拶、礼儀・マナー、服装・態度、言語活動等の向上に向けた指導 □ いじめ防止に関するアンケートの定期的な実施 □ 熱中症や感染症への対応を含めた健康指導の充実

6 重点課題と具体的な取組

領域	重点課題	具 体 的 な 取 組
教 育 活 動	授業改善	<ul style="list-style-type: none"> □ 基礎的・基本的な知識及び技能の習得の上に、I C T等を活用して知識・技能を活用する授業を行う。 □ 課題設定／情報収集／整理・分析／まとめ・表現の探究活動を行うよう努める。 □ 教員の学ぶ姿を手本に、生涯にわたって学び続ける態度を育てる。
	基礎学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> □ On-Timeにおける学び直しによる義務教育段階の基礎学力の定着を図る。 □ 学びの基礎診断や学力テスト（C B Aテスト）などの活用や読解活動を通して、社会で求められる基礎学力の定着を図る。
	教育相談	<ul style="list-style-type: none"> □ 保健室や職員室等での日頃の教育相談と、相談週間における教育相談（全教員との個別面談）の充実を図る。
学 校 運 営	生徒募集	<ul style="list-style-type: none"> □ 学校説明会や市内及び近隣の中学校訪問、生徒募集ポスターを通して本校の魅力を発信し、生徒募集に努める。
	学校情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> □ P T A通信、各種便りや学校公式HPなどを通して、三修制やきめ細かな少人数指導など、本校の魅力ある取組を発信する。 □ 熱中症や感染症対策への取組を周知し、家庭の理解・協力を要請する。
	働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> □ 会議・業務の見直しによる業務の縮減や効率化に努め、働き方改革を推進する。